

暑い中ありがとうございます。

ここは中之島で福島という島で、大阪は海や川、山からの結びつきによって生まれている場所です。土砂も人も文化も、縄文以前から今までの時間のうちに堆積し、アート(アルス)、藝と暮らし(漁撈と採集、農工商)、祈り、モノ、学び、自治、福祉などの、通底しているものを探りたいということです。

大まかに、入って正面が縄文的なるもの。右手が大阪・平野、天王寺などの原初的街。入口右後方海手からの流れは、蛭子、傀儡(くぐつ)など。中央部は中之島、商と美がつながる大坂画誕生の場となります。

そして私自身が生まれたのも都島という島。戦後、高度経済成長の下、近江から淀川を下った商人の子である亡き父。そしてそこから再び淡海へ。曾祖父が残した村のよろずやの暮らしには、大きな循環の中にいるのだと思える原初的な世界がありました。その辺りを左奥からの巡らいとして展示しています。

カオスと秩序、ボケと突っ込み、多様性、まとめたい、まとまらないそんな展示です。

疋田実